

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350011	X-21-B-2-350011	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
南北問題	瀬戸 裕之			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

南北問題とは、先進国と開発途上国との間にある政治的・経済的格差に着目し、先進国にとって有利な国際秩序の変革を求める批判的な主張のことであります。本講義では、アジア・アフリカなどの植民地が抱えてきた問題、国際秩序の改革のために開発途上国が行ってきた試み、現在の開発途上国が抱える課題について学ぶことによって、開発途上国の視点からみた国際秩序とグローバルな課題に対する批判的な問題意識を身につけます。

各回の授業内容

第1回 【授】 導入-南北問題を学ぶために 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第9回 【授】 世界経済秩序への批判 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第2回 【授】 南北問題とはなにか 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第10回 【授】 資源ナショナリズムと石油危機 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第3回 【授】 格差のはじまり-植民地形成 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第11回 【授】 開発途上国の債務問題 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第4回 【授】 植民地が抱える問題 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第12回 【授】 国際機関による治療法 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第5回 【授】 植民地の独立 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第13回 【授】 開発途上国の優等生 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第6回 【授】 第三世界の登場 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第14回 【授】 資源をめぐる紛争と経済成長 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第7回 【授】 援助か？貿易か？-解決策を探る 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第15回 【授】 途上国？経済大国？-新たな援助国 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第8回 【授】 国際経済の新たな主役 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第16回 【授】 期末試験 【前・後】 【必要な時間 4 時間】 これまでの授業内容を復習しておく。

成績評価方法

【成績評価】 中間テスト (30%)、期末テスト (70%)、中間テストを必ず受験しなければならない。
 【フィードバックの方法】 中間テストの実施後に、問題の要点と回答について受験者に説明する。

教科書・参考書

指定しない。参考すべき図書は、授業中に紹介する。

受講に当たっての留意事項

聴講する学生は、各自でノートを持参すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		×

学習到達目標

現在の国際秩序が抱える課題を開発途上国の視点から理解し、先進国が有利な国際秩序に対する批判的な視点を学習することによって、複眼的に国際社会をみる考え方を身につける。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習